外国居住者等所得相互免除法に関する届出書

APPLICATION FORM FOR THE MUTUAL EXEMPTION LAW FOR INCOME OF FOREIGN RESIDENT, ETC.

税務署整理欄 For official use only

			-		
適用;	有、	無			
番号 確認					
	番号	番号	番号	番号	番号

対象配当に対する所得税の軽減(復興特別所得税の非課税)

/					ef from J for Recor	-			-	ecial 1	Incom	.e							
1	j		この届	間出書の	の記載に当					と参照	して・	くださ	い。						
``	税務署長殿				S	ee sepai	rate ins	tructio	ns.						-				
To the District			T	ax Off	īce										番号 推認				
Applicable 外国居住者	Article of the 等所得相互免险	Mutu 涂法第1	相互免除法の規 al Exemption L L5条第項 ·Income of For	Law for	r Income	of Fore													
			する事項(注8					·-		e 8)									
氏 名	又 Full na	は	名	称					(=										
	号 又 る 場 合 l Number or nited to case	の Corp	法 人 番 み 記 入 orate Number holder)	号)		i		l		ı					į			į	
個人の場合 Individual	住 所 Domi	又 icile o	は 居 r residence	所									(信	■話番-	号 Te	elepho	one l	Numb	er)
法人その他の			事務所の所在 ce or main offic										(信	意話番-	号 Te	elepho	one l	Numb	oer)
団体の場合 Corporation		e the	競 さ れ た 場 Corporation v ganized																
or other entity	or other <u>事業が管理・支配されている場所</u> (注9)											(電	話番号	号 Te	lepho	one l	Numb	oer)	
下記「4」の5		居住名	者として課税さ	れる							(納税:	者番号	+ Tax	payer	Iden	tificat	tion	Numl	ber)
Foreign country where the Recipient is taxable as resident on Dividends mentioned in 4 below and the place where he is to pay tax (Note 10)																			
国内事業所等		n	名 Name	称									(8	B⇒r vir.	- T	1 1		. 1	
Permanent establishment in Japan 所在地 Address		地									(f	直話番 -	庁 16	elebu (one 1	Numr)er)		
□有(Yes) , If "Yes", e	□無(No) explain:		事業の内 Details of Bus																
3 対象配当の	支払者に関する	事項	; Details of Pa	yer of	Dividend	ds													
名	Full na	ame	称																
本店又は主たる事務所の所在地 Place of head office or main office											(信	■話番	号 Te	elepho	one l	Numb	oer)		
法	人 Corporate	番 Numb	号 per					l		l					l			-	
			受ける対象配当 from the Payer															;	
元 本 の Kind of Pr		銘	柄 又 Desc	は riptior		称	名	義	人 Nan	の ne of	氏 Nomi	名 inee o	又 f Princ			名 : 12)	称	(注1	2)
□出資・株式 Shares (Stock □株式投資信記 Stock investr	ks) E																		
		本 antity	の 数 of Principal	量					元	本 Date	の of A	取 .cquis	得 ition o	年 f Prin	月 cipal		日		
5 その他参考	となるべき事項	〔(注	13) ; Others (1	Note 1	13)														
							_						_					_	

6 日本の税法上、「2」の欄に記載した外国法人が納税義務者とされるが、その外国法人に係る外国では、その外国法人の株主等である者が納税義務者とされており、かつ、その外国の法令の規定によりその外国法人の株主等である者(その外国の居住者に限ります。)の所得として取り扱われる部分に対して外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける場合の同項の規定の適用を受ける割合に関する事項等(注4);_

Details of proportion of income to which the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, if the foreign company mentioned in 2 above is taxable as a company under Japanese tax law, and the member of the company is treated as taxable person in the foreign country where the head office or main office of the foreign company is located; and if the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable to income that is treated as income of the member (limited to a resident of the foreign country) of the foreign company in accordance with the provisions of the law of the foreign country (Note 4)

「2」の欄に記載した外国法人が支払を受ける「4」の対象配当については、その外国法人に係る外国において、次の法令に基づいて、次の日以後、その外国法人の株主等である者の所得として取り扱われることとされています。

Dividends mentioned in 4 above that a foreign company mentioned in 2 above receives are treated as income of those who are its members in the foreign country where the head office or main office of the foreign company is located since the following date under the following law of the foreign country.

効力を生じる日

%

%

%

%

%

年

%

%

%

%

%

Applicable law Effective date 「2」の欄に記載した外国法人の株主等である者で外国居住者等所得相 互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける者の氏名又は名称 <u>_____</u> 外国法人の株主等である者の所得 間接保有 持分の割合 として取り扱われる部分の割合= Indirect Ratio of 外国居住者等所得相互免除法第15 Name of member of the foreign company mentioned in 2 above, to Ownership Ownership whom the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual 条第3項の規定の適用を受ける割 Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable Proportion of income that is treated as income of the member of the foreign company = Proportion for Application of the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. % %

7 日本の税法上、「2」の欄に記載した団体の構成員が納税義務者とされるが、その団体が設立された外国では、その団体が納税義務者とされており、かつ、その外国の法令の規定によりその団体の所得として取り扱われるものに対して外国居住者等所得相互免除法第15条第5項、第7項又は第9項の規定の適用を受ける場合の記載事項等(注5);

合計 Total

Details if, while the partner of the entity mentioned in 2 above is taxable under Japanese tax law, the entity is treated as taxable person in the foreign country where the entity was established, and if the provisions of Article 15, paragraph 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable to income that is treated as income of the entity in accordance with the provisions of the law of the foreign country (Note 5)

「2」の欄に記載した団体の構成員が支払を受ける「4」の対象配当については、その団体が設立された外国において、次の法令に基づいて、次の日以後、その団体の所得として取り扱われることとされています。

Dividends mentioned in 4 above that the partner of the entity mentioned in 2 above receives are treated as income of the entity in the foreign country where the entity was established since the following date under the following law of the foreign country.

根拠法令	効力を生じる日	年	月	日
Applicable law	Effective date			

他の全ての構成員から通知を受けこの届出書を提出する構成員の氏名又は名称

Full name of the partner of the entity who has been notified by all other partners and is to submit this form

○ 代理人に関する事項; この届出書を代理人によって提出する場合には、次の欄に記載してください。 Details of the Agent; If this form is prepared and submitted by the Agent, fill out the following Columns

代理人の資格 納税管理人の届出をした税務署名 氏 名 (名称) Capacity of Agent Name of the Tax Office where Full name the Tax Agent is registered in Japan (電話番号 Telephone Number) 納税管理人 住所 (居所・所在地) Tax Agent Domicile (Residence 税務署 その他の代理人 or location) Tax Office Other Agent

※ 「納税管理人」とは、日本国の国税に関する申告、申請、請求、届 出、納付等の事項を処理させるため、国税通則法の規定により選任 し、かつ、日本国における納税地の所轄税務署長に届出をした代理人 をいいます。

根拠法令

**Tax Agent" means a person who is appointed by the taxpayer and is registered at the District Director of Tax Office for the place where the taxpayer is to pay his tax, in order to have such agent take necessary procedures concerning the Japanese national taxes, such as filing a return, applications, claims, payment of taxes, etc., under the provisions of Act on General Rules for National Taxes.

FORM

「外国居住者等所得相互免除法に関する届出書(対象配当に対する所得税の軽減(復興特別所得税の非課税))」に関する注意事項

INSTRUCTIONS FOR "APPLICATION FORM FOR RELIEF FROM JAPANESE INCOME TAX AND SPECIAL INCOME TAX FOR RECONSTRUCTION ON DIVIDENDS"

注 意 事 項

届出書の提出について

- 田書の提出について この届出書は、対象配当(外国居住者等の所得に対する相互主義に よる所得税等の非課税等に関する法律(この届出書において「外国居 住者等所得相互免除法」といいます。)第15条第29項第1号に規定す る対象配当をいいます。この届出書において同じです。)に係る日本 国の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額について外国居住者等 所得相互免除法第15条第16 第26 第76 以任第260 | 所得相互免除法第15条第1項、第3項、第5項、第7項又は第9項の 規定の適用を受けようとする場合に使用します。
- この届出書は、対象配当の支払者(租税特別措置法第9条の3の2 第1項に規定する支払の取扱者を含みます。以下同じです。)ごとに 作成してください。
- この届出書は、正副2通を作成して対象配当の支払者に提出し、対 象配当の支払者は、正本を、最初にその対象配当の支払をする日の前 日までにその支払者の所轄税務署長に提出してください。この届出書 の提出後その記載事項に異動が生じた場合も同様です。

なお、記載事項に異動が生じた場合において、異動が生じた記載事 項が届出書の「4」の「元本の数量」の増加又は減少によるものであ る場合には、異動に係る届出書の提出を省略することができます(上 場株式の配当等の一定の対象配当については、既に提出した届出書に 記載した対象配当と異なる種類の対象配当の支払を受けることとなる

記載した対象配当と表現る種類の対象配当の文化を受けることとなる 場合においても、異動に係る届出書の提出を省略できます。)。 無記名の受益証券等に係る対象配当については、その支払を受ける 都度、この届出書を正副2通作成して対象配当の支払者に提出し、対 象配当の支払者は、正本をその支払者の所轄税務署長に提出してくだ

外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける場

合には、次の点にご注意ください。 外国法人であって、その外国法人に係る外国ではその外国法人の株主等である者が納税義務者とされるものが支払を受ける対象配当については、その外国の居住者である株主等である者の所得として取り扱 われる部分についてのみ外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受けることができます。上記に該当する外国法人は、この届出書に次の書類を添付して提出してください。

① 外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける

- 対象配当について、届出書の「2」の欄に記載した外国法人に係る外 国の法令においてその株主等である者の所得として取り扱われるこ とを明らかにする書類(外国語で作成されている場合には、その翻訳文を含みます。③において同じです。)
- 「外国法人の株主等の名簿(様式10)」
- 外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける ことができる株主等である者がその外国法人の株主等であることを 明らかにする書類 ・ 外国法人に係る外国の租税に関する権限のある機関の株主等であ
- る者に関する居住者証明書

外国居住者等所得相互免除法第15条第5項、第7項又は第9項の規定の適用を受ける場合には、次の点にご注意ください。 外国において設立された団体であって、日本ではその構成員が納税義務者とされるものの構成員(その団体が設立された外国の居住者だけでなく、それ以外の国の居住者や日本の居住者も含みます。以下同じでなく、それ以外の国の居住者や日本の居住者も含みます。以下同じでは、は、この民出事にかの事物を活はして提出してください。 じです。) は、この届出書に次の書類を添付して提出してください。

なお、その団体の構成員のうち特定の構成員が他の全ての構成員か ら「団体の構成員の名簿 (様式10)」に記載すべき事項について通知を受け、その事項を記載した「団体の構成員の名簿 (様式10)」を提 出した場合には、全ての構成員が届出書を提出しているものとみなさ

- の欄に記載した団体が設立された外国においてその団体の所得とし て取り扱われることを明らかにする書類(外国語で作成されている
- 場合には、その翻訳文を含みます。③において同じです。) 「団体の構成員の名簿(様式10)」 「団体の構成員の名簿(様式10)」に記載された構成員が届出書 の「2」の欄に記載した団体の構成員であることを明らかにする書
- 外国の租税に関する権限のある機関の団体に関する居住者証明書
- この届出書を納税管理人以外の代理人によって提出する場合には、 その委任関係を証する委任状をその翻訳文とともに添付してくださ

届出書の記載について

- 届出書の□欄には、該当する項目について✔印を付してください。 届出書の「2」の各欄には、外国居住者等所得相互免除法第15条第 1項の規定の適用を受ける場合には、対象配当の支払を受ける者につ いて記載してください。

また、外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受 ける場合には、対象配当の支払を受ける外国法人について、外国居住者等所得相互免除法第15条第5項、第7項又は第9項の規定の適用を 受ける場合には、対象配当の支払を受ける者が構成員となっている外 国において設立された団体について、それぞれ記載してください。

-INSTRUCTIONS-

Submission of the FORM

- This form is to be used by the Recipient of Dividends (meaning Dividends prescribed in Article 15, paragraph 29, item 1 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc.; the same applies in this form) in claiming the application of Article 15, paragraph 1, 3, 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. to Japanese Income Tax and Special Income Tax for Reconstruction.
- This form must be prepared separately for each Payer of Dividends (including Person in charge of handling payment of Dividends prescribed in Article 9-3-2, paragraph 1 of the Act on Special Measures Concerning Taxation; the same applies below).
- This form must be submitted in duplicate to the Payer of Dividends, who has to file the original with the District Director of Tax Office for the place where the Payer resides, by the day before the payment of the Dividends is made. The same procedures must be followed when there is any change in the statements on this form except if the change results in an increase or decrease in the "Quantity of Principal", mentioned in column 4 (In the case of fixed dividends of listed stock, the submission of the form for transfer purposes could be omitted, when the dividends received differ from those dividends noted on the form that has already been submitted.).

However, in case of Dividends from bearer securities, this form must be submitted in duplicate at the time of each payment of such Dividends.

In the case where the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, the next point should be noted.

In case of income that is received by a foreign company whose member is treated as taxable person in the foreign country where the head office or main office of the foreign company is located, the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable only to income that is treated as income of members that are residents of the foreign country. Such a foreign company should attach the following documents to this form:

- ① Documents showing that Dividends are treated as income of those who are members of the foreign company mentioned in column 2 under the law of the foreign country, together with their Japanese translations.
- "List of the Members of Foreign Company (Form 10)"
- Documents showing that the member to whom the provisions mentioned above is applicable is a member of the foreign company, together with their Japanese translations.
- The residency certification for the member of the foreign company of competent authority regarding taxation of the foreign country.
- In the case where the provisions of Article 15, paragraph 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, the next point should be noted.

A partner of an entity that was established in the foreign country (including a partner that is resident of Japan or any other country, in addition to the foreign country where the entity was established; the same applies below) and whose partners are taxable persons in Japan must submit this form attached with the following documents.

If a specific partner of the entity is notified of required information to enter in "List of the Partners of Entity (Form 10)" by all other partners and submits "List of the Partners of Entity (Form 10)" filled with the notified information, all of the partners are deemed to submit the application form.

- Documents showing that Dividends are treated as income of the entity mentioned in column 2 under the law of the foreign country, together with their Japanese translations.
- "List of the Partners of Entity (Form 10)"
- Documents showing that the partners mentioned in "List of the Partners of Entity (Form 10)" are partners of the entity mentioned in column 2, together with their Japanese translations.
- 4) The residency certification for the entity of competent authority regarding taxation of the foreign country.
- An Agent other than the Tax Agent must attach a power of attorney together with its Japanese translation.

Completion of the FORM

- Applicable boxes must be checked.
- In the case where the provisions of Article 15, paragraph 1 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into column 2 Recipient of Dividends.

In the case where the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into column 2 foreign company which receives Dividends.

In the case where the provisions of Article 15, paragraph 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into column 2 entity that was established in the foreign country whose members receive Dividends.

9 届出書の「2」の「事業が管理・支配されている場所」欄には、外 国居住者等所得相互免除法第15条第1項の規定の適用を受ける場合に は、対象配当の支払を受ける者の事業が管理されている場所を記載し てください。

また、外国居住者等所得相互免除法第15条第5項、第7項又は第9項の規定の適用を受ける場合には、対象配当の支払を受ける者が構成員となっている外国において設立された団体の事業が管理され、かつ、支配されている場所を記載してください。

外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける場合には、記載する必要はありません。

- 10 納税者番号とは、租税の申告、納付その他の手続を行うために用いる番号、記号その他の符号でその手続をすべき者を特定することができるものをいいます。支払を受ける者の居住地である外国に納税者番号に関する制度が存在しない場合や支払を受ける者が納税者番号を有しない場合には納税者番号を記載する必要はありません。
- 11 届出書の「4」の各欄には、対象配当の支払を受ける者が外国居住 者等所得相互免除法第2条第6号に規定する国内事業所等(対象配当 の支払を受ける者が人的役務の提供を行う者である場合には、外国居 住者等所得相互免除法第2条第6号イに掲げる国内事業所等(固定的 施設)。以下同じです。)を有する場合は、その国内事業所等に帰せ られない対象配当について記載してください。
- 12 届出書の「4」の「名義人の氏名又は名称」欄には、元本がその真実の所有者以外の者-対象配当の支払を受ける者以外の者-の名義によって所有されている場合に、その名義人の氏名又は名称を記載してください。この場合、届出書の「2」の「対象配当の支払を受ける者に関する事項」欄に記載した者が元本の真実の所有者であること及びその元本が真実の所有者以外の者の名義によって所有されている理由を証するその名義人の発行した証明書を、その翻訳文とともに添付してください。
- 13 届出書の「5」の欄には、「2」から「4」までの各欄に記載した 事項のほか、外国居住者等所得相互免除法第15条第1項、第3項、第 5項、第7項又は第9項の規定の適用を受けるための要件を満たす事 情の詳細を記載してください。

この届出書における「外国」とは、外国居住者等所得相互免除法第2条第3号に規定する外国をいいます。

なお、この届出書に記載された事項その他外国居住者等所得相互免除 法の規定の適用の有無を判定するために必要な事項については、別に説 明資料を求めることがあります。 9 In the case where the provisions of Article 15, paragraph 1 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into item "Place where the business is managed and controlled" of column 2 place where the business of the Recipient of Dividends is managed.

In the case where the provisions of Article 15, paragraph 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into item "Place where the business is managed and controlled" of column 2 place where the business of entity that was established in the foreign country whose members receive Dividends is managed and controlled.

In the case where the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, it is not necessary to enter into item "Place where the business is managed and controlled" of column 2.

- 10 The Taxpayer Identification Number is a number, code or symbol which is used for filing of return and payment of due amount and other procedures regarding tax, and which identifies a person who must take such procedures. If a system of Taxpayer Identification Number does not exist in the foreign country where the Recipient resides, or if the Recipient of the payment does not have a Taxpayer Identification Number, it is not necessary to enter the Taxpayer Identification Number.
- 11 In the case where the Recipient is a person who carries on business or a company, enter into column 4 Dividends which are not attributed to a permanent establishment (limited to what falls under the category of places of business in Japan prescribed in Article 2, item 6 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc.) of the Recipient (such Dividends as are not accounted for in the books of the permanent establishment).

In the case where the Recipient is a professional, an entertainer or a sportsperson, enter into column 4 Dividends which are not attributed to a fixed base (limited to what falls under the category of places of business in Japan listed in Article 2, item 6 (a) of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc.) of the Recipient.

12 Enter into item "Name of Nominee of Principal" of column 4 the registered name of the owner of shares in question.

If the registered name is different from the name of Recipient of Dividends, attach the certificate issued by the nominee to clarify that the beneficial owner of such shares is the Recipient stated in column 2, together with its Japanese translation and why the shares are registered in a name other than that of the beneficial owners.

13 Enter into line 5 details of circumstance that the conditions for the application of the provisions of Article 15, paragraph 1, 3, 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. are satisfied, in addition to information entered in columns 2 through 4.

The term "foreign country" as used in this application form means country or region outside Japan prescribed as foreign country in Article 2, item 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc.

If necessary, the applicant may be requested to furnish further information in order to decide whether relief under the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. should be granted or not.